

進路指導ジャーナル

発行 太高進路部 印刷 東京広告株式会社



「2030年を見据えた新しい教育が始まっています」

校長 丸橋 賢

今年（2022年）の4月から、新しい高等学校学習指導要領が年次進行で実施されました。

学習指導要領とは、全国の地域でも一定水準の教育を受けられるようにするため、文部科学省が学校教育法などを基に、各学校でのカリキュラムなどを編成する際に基準とするものであり、社会や時代の変化に対応するために、約10年ごとに見直され改訂されているものです。

今年、その節目の年に当たり、2030年を見据えた新しい教育が始まっています。

学習指導要領は、長い年月を経て、改訂の方向性が検討されており、今回の改訂に向けて、今から6年前の2016年に方向性が示されました。そこでは、2030年の社会と、更にその先の未来において、これから社会で活躍する若者が、激動する様々な社会的変化を乗り越え、より良い人生とより良い社会を築いていくことを目指しています。

もう一つは、「カリキュラム・マネジメント」の確立です。学校は、歴史と伝統を継承する一方で、変化の激しい社会に対応した

方でも、変化の激しい社会に対応した高校教育の在り方について、すべての先生方で学校の教育活動を見直し、学校のブランドデザインとして示す「カリキュラム・マネジメント」の確立が求められています。太田高校でも、「学校の地図」としてのブランドデザインを示しています。高が、これらを毎年評価・改善する必要があります。高があると考えます。その際、太田高校で学んでいる皆さんや保護者、地域の方々の意見も聞きながら、新しい太田高校の方向性について皆で考えたいと思っています。

2022年度入試を終えて 前3学年担任 滝沢憲一

2022年度入試の全国および本校の様子を振り返る。

ある。学部系統別の志望動向では、文系学部全体の志望者数は前年比96%、理系学部は99%と「文低理高」の傾向がより一層明らかになった。

令和4年度入試 大学・大学別現役合格者数

Table with columns for university names and student counts, categorized by national and private institutions.

1. 概況 「大学入学共通テスト」2年目となった今年度入試。2年目は難化するというジンクスの通り激しく難化し、センター試験を含めて最も難しい試験となった。特に、「数学I・A」は過去最低の48.96点（最終集計）を下回る40.25点。このほか、「数学II」「化学」「生物」などが過去最低を下回った。

2. 大学入学共通テストについて 2022年度共通テストは1月15日・16日の2日間に行われ、全国677会場で開催された。今年度の志願者数は530,367人（前年比99.1%）、受験者数は48,838人（同100.9%）となった。

3. 国立大学入試について 国立大学の確定志願状況について、国立（前期）は募集人員6万3,637人に対し、志願者数が17万9,320人、志願倍率が2.8倍。国立（後期）は募集人員1万2,962人に対し、志願者数が12万3,633人で、志願倍率が9.5倍。公立（中期）は募集人員2,349人に対し、志願者数が3万1,380人で、志願倍率が13.4倍。

4. 私立大学入試について 昨年度、コロナ禍の影響で私立受験を受ける受験生が増加した影響で、私立大学はかなり易化した。今年はその反動で私立人気は回復し、難化する



2022年度

大学受験アンケート

この春、太田高校での三年間の奮闘を終えた卒業生達が、心身共に逞しく成長し、新たな道へと旅立った。この卒業生たちは、在校時のうち二年間は新型コロナウイルスによる影響で、学習や学校行事、部活動などあらゆる面で大きく制約を受けた。しかし、感染防止の生活のなかでも、太高プラチダを持ち、本校に対して自ら考え、工夫し、最大限に取り組んで成果を挙げた卒業生たちであった。本校舎二階の廊下には、彼らの不断の努力の結果としての合格札が掲げられている。その合格札の裏には、苦悩や葛藤を抱えながらもたゆまぬ努力を重ねた者たちの軌跡が刻まれている。在校生の諸君にはそれらの札からにじみ先達たちの姿を想像し、次は自分たちの番だ、と決意を新たに、太田高校の伝統を引き継いでいって欲しいと願う。卒業した先達達の軌跡を後輩の在校生諸君にも活かしてもらおう、このコーナーでは受験を戦い抜いたからこそ伝えられる先達達の熱いメッセージをまとめてみた。特に多い回答には◎がついている。これからの勉強計画に活かすだけでなく、思い悩んだときの糧としてもぜひ活用してもらいたい。新たな太田高校の伝統のページを、そして各々が納得のいく進路実現を果たすことを期待している。

①《志望校合格に向けて やってきたこと》

- 基礎をしっかりと固める(多数)
過去問を繰り返し解いて傾向をつかむ。赤本をしっかりとやる(多数)
日々の授業の予習と復習
毎日勉強する習慣を身につける
早期から受験勉強を始める(多数)
とにかく勉強(多数)
時間管理、計画的な学習
大学について積極的に情報を集めて、モチベーションを維持した
英語の勉強
先生に添削してもらおう
隙間時間を有効に使う
苦手教科の克服
SNSやYouTubeの利用を制限する。または、やらない。
学校や塾の学習室を利用する
自分を信じる
最後まであきらめない
文法、単語を完璧にする
毎日コツコツやる

“Be cautiously optimistic”

進路指導部 新井 悟

令和4年度が始まりました。新型コロナウイルス感染症対策のため多くの活動が制限される日々を過ごして約2年が経過しました。現在も新型コロナウイルス感染症への対策をしながら、新たな生活様式を模索する日々が続いています。今年度は、多くの制限が解消され、大高祭、学習合宿、修学旅行などの学校行事が開催されることを願ってやみません。さて、新年度の始まりに際して、室町時代の臨濟宗の僧である一休和尚の手紙を紹介したいと思います。一休和尚は戒律や形式に囚われない生き方で、民衆の共感を呼んだ人物とされており、江戸時代には彼をモデルとした頓知咄(とんちばなし)が生み出されました。一休和尚は臨終の際、「一大事が生じたら、この箱を開けなさい」と遺言を述べて、一つの箱を弟子に手渡しました。長い年月が経ち、重大な問題が起こったとき、寺僧全員が

科目ごとの学習の時間を決めて勉強した
二次試験の数学の記述対策で数学を毎日やった
問題で何を問われているかを明確にし、大まかな算段を立ててから取り組む。(特に数学)
習ったことを演習や復習を通して反芻すること
知識を蓄える
小論文と面接は経験
学習と休憩にメリハリをつけた
体調管理に気をつけた
弱点を見つけて、克服した
化学は予習して授業に臨んだ
理科が合格の鍵を握る
共通テストは苦手科目を伸ばすより得意科目を安定させることに注力した

②《太高的指導で役立ったことや効果があったもの》

- 授業(多数)
各教科からの課題
各教科の課外授業
習熟度別授業(数学・英語)
英語のシス単テスト、スタランブルテスト
英語の授業や課題
暗唱コンテスト
数学の課外や課題
授業の共通テスト演習
部活動(多数)
自習室での勉強
特編授業
添削指導
夏、冬の学習会
総合的な探究の時間
生徒主体のイベントが多く、自主性を高められたこと
定期的な朝課外のおかげで、早朝のルでできることがあり、やるべきことがあるということに気づき、そのことを実践することが大切なのだという事に思いを馳せて欲しいと思います。

集まり、箱を開けてみると、「なるようになる。心配するな」と書かれた手紙が出てきました。「なるようになる。心配するな」という言葉は、「どうせなるようになるから心配するな」という意味ではありませぬ。「なるようになる」という言葉の前には「なすべし」とをなせ」というメッセージが前提として隠れています。「なすべし」をなせ、そうすれば、なるようになる。心配するな」というメッセージなのです。困難を前にしたとき、自分たちの力の及ばない領域があることは認めつつも、「なるようになる」とは認めつつも、自分たちの力を及ぶ範囲では、知恵を出し、汗をかいてやるべきことをやる必要があるという前提が存在しているのです。何か事を成し遂げるにあたっては、どんな困難があっても、ただ願うだけではなく、自分にコントロール

学習が習慣化したこと
国語や英語の演習により、文章を読む力が付き、新傾向の問題にもしっかりと対応できた
授業や課題、課外授業を通して、学力を伸ばすことができた。部活動を通して、努力することや仲間と協力することの楽しさを知った。
太田高校で過ごした全ての日
4STEP
模試や定期テストの振り返りで友達と話し合ったり答えを考えたたりすることで切磋琢磨しあった
毎週あるような、まめテストタイプのテストが良い復習になった
英語科先生が大量の課題という愛のムチを与えてくれたこと
体育祭、煌斌祭

③《太高的指導で役立たなかったこと》

- 特になし(多数)
土曜課外
莫大(過剰)な量の課題(多数)
探究活動。また、その発表。
レベルの高すぎる授業
英文の暗唱
文系3年次の数学
私文クラスがない
写すだけの勉強
個別試験対策の英語の授業を選択制にした方が良くと思う
1年生から化学基礎をやるべきだった
生物基礎が一年時に授業を受けても一年空くので忘れてしまっ
休日を使ってスタサポやGTECを
した
④《実際に受験を体験した感想》
受験校の選び方、併願校選択
志望校を早く決める
大学調べおよび情報収集
入試の確認。科目、募集人数、合格最低点など
共通テスト利用を多めに願
出願方法や期日の確認
余裕を持った出願。出願は大変。
併願校で、合格を確保しておく
オープンキャンパスの参加
大学で何がしたいか調べる
各大学の募集要項をしっかりと確認すること

「夢は大きく志は高く」を掲げる大高生には、「夢を大きく」抱くだけでなく、「大きな夢」をかなえるためには、「その前提となる地味で地道な作業を「なす」ことも必要である」ということを忘れないでいて欲しいと思つていいます。「なす」ことは自分の意志で行う行為であり、自分でコントロールの力が及ぶ範囲でできることをやり尽くしましょう。そうすれば大抵のことはなんとかなります。最後に、ジャレド・ダイヤモンド氏の「Be cautiously optimistic」という言葉を添えて結びとします。「なす」べきことに取り組む際には、困難や苦勞も多いかもしれませぬ。そんな時は「用心深く、細心の注意を払って準備する必要はあるが、どうにかなるさ」と笑い飛ばしていきましょう。

学び続ける

三学年主任 宮川 淳 吾

三十年以上前になる自分自身の高校時代を思い返してみると、当時どうしても好きになれなかった科目・分野が二つあった。「古文」と「化学」である。世界史、特に中国史が好きだった私にとって「漢文」は強い関心を持って学習することができたが、「古文」に対しては面白さを感じることができず、ただ受験に必要だから、という義務感で学習に取り組んでいた。高校一年生の冬休みの暗記もやる気が起きず、結局一首も覚えられなかった。試験では惨憺たる結果になったことを今でもはっきり覚えている。変化の契機となったのが、以前勤務していた高校で行われていた時計時参。試験の時間配分を決めておく。前泊する。ラムネなどのおやつを必ず持つ。受験が人生の全てではないので気負いすぎずに。出願など期間に余裕を持つ。合格、不合格の後にどう立ち回るか(入学金の入金など)まで考えて本心に適切だと思う大学に出願した方がいいと思う。面接がある試験は早めに出願をした方が待ち時間が短くなる。自分を過小評価しすぎない、過大評価しすぎない。とりあえず高い目標を立てて頑張ればあとで下げるのは簡単。入学金第一次締め切りをよく調べる。指定校推薦の評定平均値。親に感謝をして勉強する。国立大学の2次試験の配点が5割以上ある場合、夏休みの段階で過去問は少なくとも3年分以上取り組んで、何が足りないかをよく考えたいと思う。

- 時計時参
試験の時間配分を決めておく
前泊する
ラムネなどのおやつを必ず持つ
受験が人生の全てではないので気負いすぎずに。出願など期間に余裕を持つ。合格、不合格の後にどう立ち回るか(入学金の入金など)まで考えて本心に適切だと思う大学に出願した方がいいと思う。
面接がある試験は早めに出願をした方が待ち時間が短くなる。
自分を過小評価しすぎない、過大評価しすぎない。とりあえず高い目標を立てて頑張ればあとで下げるのは簡単。
入学金第一次締め切りをよく調べる。
指定校推薦の評定平均値。
親に感謝をして勉強する。
国立大学の2次試験の配点が5割以上ある場合、夏休みの段階で過去問は少なくとも3年分以上取り組んで、何が足りないかをよく考えたいと思う。
⑤《先輩へのメッセージ》
頑張れ！諦めるな！
コツコツ勉強する
勉強する習慣を身につける
早めに志望校を決める
1年の時から勉強を頑張る
重要
早期からの受験勉強を始めることが大事
塾に通わせてくれたこと
毎日の授業がとて大切
何事もできるだけ早めに行動する
自分を過小評価しすぎない、過大評価しすぎない
⑥《保護者へ感謝したいこと》
嫌だったなあ」と感じたこと
特になし(多数)
勉強しているのに結果が出ないと勉強しると言われたこと
過保護、過干渉
受験に無関心
成績に関してきついことを言ったこと
模試の度に一喜一憂していたこと
プレッシャーをかけてくれたこと(多数)
志望校に文句を言うこと
受験の知識が少なかつたこと
思ったことを全部言ってくる
自分なりの勉強法があるのに、動画で見た勉強法を色々アドバイスしてきたこと
進路と将来に嫌味を言われたこと
本当に群大行けないのと言われ続けたこと
自分を過大評価すること
親のほうに不安があつたこと
勉強して「ただいま」の一言
受験前にお金や現実的な話はばかりすること

か、と思うとともに、今からでも遅くない、とも思っている。受験科目として「生物」を選択していたこともあり、興味を持っていない科目だった。しかし、その後、日本や世界の物流に強い関心を持ったことから、積み重ねに興味を持つようになった。例えば、「メチルトリメトキシシラン」という化学薬品、一体どうやって製造するんだらう、輸送においてどういう配慮が必要なんだらう、何に使っているんだらう、などと、興味を拡大していき、ついには化学系教科書の代名詞的存在である丸善株式会社「化学工業概論」などの書籍を大量に買い込み、自ら化学を勉強するようになった。太高生諸君にとつて、「学習」受験勉強」という意識が強いだろう。もちろん、受験勉強は大事である。受験という高く険しい壁にチャレンジして欲しい。しかし、受験が終わった後、もつと言えれば大学卒業後に本当の学習が始まる。一生学び続ける気持ちを持つて欲しい。毎日起こしてくれたこと
勉強や進路のこと口出しせず、やりたいことをやりなと背中を押してくれたこと
ありすぎるので、結婚式の時に言います
夜遅くなつてもごはんなどが用意されていた
本当に行きたい、やりたいことがあると伝えたら自分のすきにやらせてもらったこと
受験のための移動や宿泊などの協力
大学の学費を払ってくれたこと。
《保護者に対して「ちよつと」